

# 成功の道具としての経営計画書作り

経営の教科書として、本当に役に立つ計画書を作りには、社長の経営にかける願望と向上心をベースにして、幹部が一緒になって作る仕組みとプログラムが必要です。

1. 経営を構成する六つの要因をはっきりさせます
  - 1) 企業理念（経営の目的、守るべき価値、ビジョン）
  - 2) リーダーシップに関する方針
  - 3) 教育に関する方針
  - 4) 社内業務のプロセス（仕組み）に関する方針
  - 5) 戦略に関する方針
  - 6) お客様に関する方針
2. 六つの要因間の因果関係を理解します。

企業理念→リーダーシップ→教育→業務プロセス（仕組み）→戦略に関する方針→お客様満足→成功
3. 実践的で本当に経営に役立つ経営計画書には、方針ごとに企業理念と一貫する考え方と目標をはっきりさせる必要があります。
4. 方針をつくる手順・方法が誰もが分かり易く納得できる未来対応型問題解決があります。
  - 1) A0版の問題解決シートにチームメンバーがポストイットに思いつくことを書いたものを貼り、対話をしながら、方針を絞り込み、目標を決めていきます。その際に情報を統合するアドバイザーが支援します。
5. 出来上がった経営計画書の発表会を全社員、取引銀行、主なビジネスパートナーの前で新年度の始まる月の当初に行います。
6. 半年に一度、経営計画の達成状況を検証し、何がよかったか、悪かったか、ではどうすればよかったかをはっきりさせます。そして新年度の始まる前月に新年度の経営計画書をつくります。
7. 経営計画書をベースにして、企業理念と各方針と一貫し整合した部門毎の実行計画を作成します。
8. 実行計画は毎月達成状況を検証し、何がよかったか、悪かったか、ではどうすればよかったかをはっきりさせる仕組みを作ります